



四日市市立  
港中学校だより

# 青葉旬う

令和7年1月17日  
No.10 発行:校長

## 3学期が始まりました ～新年あけましておめでとうございます～

ご挨拶が少し遅くなりましたが、去年は保護者の皆様、地域の皆様にはたいへんお世話になり、誠にありがとうございました。本年も変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。1月は1年のスタートの月ですが、学校では1年を締めくくる3学期の最初の月でもあります。1月8日の始業式では、校長から次のお話をしました。

新年あけましておめでとうございます。日本には1年の中に大きな区切りが2回あります。そのうちの一つが新年を迎える元旦、つまり一月一日ですね。今年は今令和7年、2025年です。新年を迎えるにあたり、大みそかには除夜の鐘を突いたり、年が明けてからは初詣に行ったりして、人は気持ちを新たにします。「一年の計は元旦にあり」という言葉がありますが、皆さんは新年の計画や誓いなどを立てましたか。物事は始めが大切、新年という大きな区切りに、しっかりと計画を立て、決意を新にして確実に実行していきましょう。

さて、2学期の終業式では「行事や大会に全力で参加した人」「学習やテストに力を入れて取り組んだ人」「人権学習や道徳の授業で新たな気づきや発見を得た人」を例に挙げて、皆さん一人ひとりの成長について話をしました。もちろんこの3学期も様々な経験を積んで、もう一つの大きな区切り、3月の学年末に向けて成長してほしいと思っています。

まず、3年生はいよいよ進路の実現に向けて最終段階に入りました。人によって目指す進路は異なりますが、それぞれの目標達成を目指して頑張ってください。そして、3月の卒業式には、すてきな式歌「シー ユー アゲイン」をみんなで歌いましょう。

次に、2年生は2か月後には港中学校の最上級生になることを自覚してください。生徒会や委員会、様々な行事などで港中をリードして行けるよう、この3学期に一人ひとりが力と意識を高め、クラスや学年のまとまりを磨いていってほしいと思います。

最後に1年生はこの3学期の内に、先輩になる準備をしっかりとってください。これまで部活動や行事、普段の生活などで、いろいろなことを上級生に教えてもらったり助けてもらったりしてきたと思います。4月に入学してくる新入生に同じようなことができるように、一年生も一人ひとりが力と意識を高め、クラスや学年のまとまりを磨いていってほしいと思います。

どの学年の人も、それぞれがこの3学期を充実させ、意味のある学期にしてくれることを願って、始業式の挨拶とします。

